

# 幸福大国・デンマーク流 教育のかたち

～フォルケホイスコーレ（大人のための学校）への留学と、  
学校訪問の体験を通して見えたもの～

話題提供：宇佐川 拓郎さん

所属：小鹿野町地域おこし協力隊

■ 日時 ■

2020年 7月25日（土）14：00～17：00

オンライン開催（Zoom）

申し込み不要

参加費無料

Zoom のアクセスに関する情報は ALCE Web サイトへ→



日本の新学習指導要領が幼稚園より順次施行が始まっている。そこでは、日本の公教育の「方向転換」の一部分を垣間見ることができるようになる。その「新しい教育のあり方」におけるヒントの一つが、北欧、中でも近年、幸福大国とも位置付けられるデンマークに落ちているのではと、私は感じた。

デンマークには、農民や市民の力で「民主的な教育環境」を築いてきた歴史がある。それは、フォルケホイスコーレ運動やフリースクール運動として準備され、教育の民主化を担い、デンマーク社会の民衆主導の近代化においても見逃せない影響を及ぼしてきたと言える。中でもフォルケホイスコーレは、大人のための学校とも呼ばれ、全寮制のもと18歳以上の大人が学びと寝食を共にすることで、相互作用による「生の啓発」が起こる場として独特かつ重要な存在感を放ってきた。

そんなデンマークの教育と市民社会の民主化に影響を与えてきた学校に魅惑されて、私はフォルケホイスコーレの一つに留学することに決めた。そこでの実際の体験を報告することを通して、日本の「これからの教育」を考えるきっかけ作りができれば幸いである。

【QRコード参照】

- ・一般社団法人 IFAS フォルケホイスコーレとは
- ・デンマーク生まれの大人の全寮制学校「フォルケホイスコーレ」留学体験記



宇佐川 拓郎（USAGAWA Takuro）さん：小鹿野町地域おこし協力隊所属。  
地域ぐるみの共育環境づくりに向けて奔走中。  
『地域が学び舎』プロジェクト、小鹿野町『大人の学校』立ち上げプロジェクト推進中。